

四年ぶりの春スキー

長野道、安曇野のインターを降りてしばらく走ると、懐かしいあの風景が目に見え込んできます。それは、水を張った田んぼに、北アルプスの山々が移る風景。これを見ると「春スキーに来たんだな」という、感動とワクワク感とちゃんと滑れるかな？ という、いろいろな気持ちが、頭と胸の中をグルグル掛け巡ります。なんてセンチメンタルになっているのもつかの間、宿に到着、静岡から四時間四十分ほどでした。先発隊の宮田さん・神山さん(夫婦)・岩品さん、そして、浜松の神戸さん・中村さん・丹羽さん、愛知の多田さん・永野さんたちと合流。バタバタと出発準備が始まります。

ゴンドラの待ち時間もなくグレンデへ、まずはいつものようにパノラマゲレンデで足慣らし、四年ぶりの春スキー、そして、一月の平湯温泉以来のスキーです。

みんながすぐに滑り出さなかったので、なんか「まあいいか、いつてまえ」といった気持ちでドキドキしながら滑り出します。でも今年はずもたっぷりあって、思いのほかいい感じで滑ることができました。しかし、その後の黒菱のコブはな

かなかそうはいきません。スカイラインのコブはなんとかかんとか、でも、これで三日間持つのかなあ、といった感じで一日目が終了。

二日目、浜松の丹羽さんの弟さんが加わりました。前日行かなかった第一ケルンへ。白馬三山もよく見え気分も爽快。この後またあの黒菱へ、なかなかうまく滑れません。でもみなさんともうまく滑っています。愛知の永野さん、女性ですがスピードをコントロールして一つ一つ丁寧に、確実に滑っていきます。「うまいもんだなー あやかりたいな」と見とれてしまいます。

スカイラインの右端のコブにも挑戦、このコブもかなり手こわいです。昨日滑った時も「まだあるの！まだあるの！」といった感じでした。

三日目、今日はさすがに私と石上さんは、コブはパスさせてもらい、比較的滑りやすいスカイラインを滑りました。

今日は帰りが二時に迎えに来てもらうので、お昼も早めにすることにしました。この三日間のお昼は、天気も良かったので毎日外、コンビニのおにぎりやサンドイッチなどで済ませたので、昼食代はたいへん安く済みました。

こうして宿に帰って、温泉で汗を流し、帰路につきました。あつという間の八方の三日間でしたが、ゆっくりでもいいから、あのコブの溝か

らはみ出さずに滑りたい。そんな課題のようなものも出てきたようで、何か久しぶりに来シーズンが待ちどろしくなってきた最終日でした。

今回の参加者は、ゆきんこ：宮田・神山(夫婦)・岩品・長島・中野・石上・上田、そして、ボーゲン(浜松)：神戸・中村・丹羽・丹羽(弟)、愛知：多田・永野 以上十四名でした。

みなさん、お疲れさまでした。

ひさびさの僕太郎



お原頁いしま〜す!

長島さんより「全国スキー協会向けアンケート調査」がとどいていると思えます。まだ出していない方、申し訳ありませんが至急、郵送でも、FAXでもよいので、返送してください。よろしくお原頁いたします。

FAX 296-3078

〒421-2117

葵区幸庵新田 20-4

長島信三



第37回総会

たいへん申し訳ありません
5月の例会(運営委員会)が諸事情により、まだ開かれていません。6月4日を予定していましたが、決定しました。新めて連絡します。すみませんが、よろしくお原頁いたします。

